

温泉の利用状況について

泉質： ナトリウム-炭酸水素塩・塩化物温泉
(弱アルカリ性 低張性 高温泉)

温泉成分の特徴： 無色透明、微硫化水素臭
(分析場所：源泉)

源泉の温度及び湧出量： 46.1℃ 一リットル/分

※詳細は別紙温泉分析書のとおり(直近成分分析年月日：H29.11.28)

浴槽の種類とその状況： 大浴場、露天風呂、低周波風呂(全て温泉水を使用)

循環、かけ流しの状況： 循環・かけ流し併用式

(温泉資源の保護及び浴槽内の汚れを除去するため、浴槽に常に新しい温泉を注入しながら、浴槽水を回収し、ろ過、加温して再利用しています。オーバーフロー水は再利用していません。)

加水の状況： 泉温が高いため、夏は10%程度、冬は5%程度井戸水を加えています。

加温の状況： 貯湯槽を有するため、衛生管理の面から加温しています。

新湯との入れ替わり状況： ー

入浴剤等の添加： なし

衛生管理状況について

浴槽の清掃状況： 毎日完全にお湯を抜いて清掃を行っています。

浴槽水の消毒状況： 衛生管理を確実にを行うため、塩素系薬剤を投入し、浴槽内の塩素濃度を1日4回確認することにより細菌の増殖を防いでいます。

水質検査の頻度： 日常的な衛生管理を行うとともに、レジオネラ属菌の防止状況の確認を行うため、年2～3回実施しています。
※水質検査証は別に表示

平成29年11月28日

施設名 (株)さがら 茶湯里

温泉は限りある資源です。大切に使いましょう。

熊本県温泉協会